

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社ソルクシーズ
【英訳名】	SOLXYZ Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長尾 章
【本店の所在の場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03 - 6722 - 5011
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 渡辺 源記
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03 - 6722 - 5011
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 渡辺 源記
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期連結 累計期間	第34期 第2四半期連結 累計期間	第33期
会計期間	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高(千円)	4,203,630	4,620,140	8,570,002
経常利益(千円)	91,997	249,586	325,020
四半期純利益又は当期純利益(千円)	29,180	166,565	184,041
四半期包括利益又は包括利益(千円)	32,543	186,222	197,592
純資産額(千円)	2,116,741	2,416,080	2,283,542
総資産額(千円)	6,351,787	6,656,463	6,444,157
1株当たり四半期純利益金額又は当期純利益金額(円)	2.72	15.54	17.17
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	33.1	36.0	35.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	282,488	126,040	459,938
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	108,072	147,327	371,052
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	349,697	68,301	168,095
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	2,211,903	1,872,487	1,951,645

回次	第33期 第2四半期連結 会計期間	第34期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	10.66	7.06

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第33期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び第33期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。また第34期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は発生していません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日銀による経済政策、所謂アベノミクスによって円高の是正や株価の回復などが進み、住宅着工の増加など実体経済の面でも回復の兆しが出始めています。

国内IT投資については、企業マインドの改善傾向を受け、金融機関などの凍結案件の再開やITインフラへの投資増大など、緩やかながら復調の動きが見られました。

このような環境の中、当社グループはSI/受託開発業務において優良案件獲得に向けた営業活動を積極的に展開した外、中期計画に基づき、ストック型ビジネスの拡充・強化に努め、以下のような新商品・新サービスを開発・提供いたしました。

連結子会社(株)ノイマンにおいて、学習塾向けeラーニングシステム「KOJIRO」を開発し、4月より新たなストック型ビジネスとしてサービスを開始しました。

独居高齢者を見守りたいというご家族向けの介護支援サービス「いまイルモ」を開発し、8月からのサービス開始に向けた準備を行いました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績を見てまいりますと、売上高は、前年同期比9.9%増の4,620百万円となりました。

セグメント別では、主業務であるソフトウェア開発事業の売上高は、当社の生損保・クレジットを中心とした金融顧客向け等のSI/受託開発業務が増収となり、グループ会社においても、大手自動車メーカー等を対象とした組込み系コンサルティング業務、銀行向けシステム開発業務、WEBマーケティング支援業務、ICTインフラの設計・構築業務などにおいて増収となり、同11.0%増の4,429百万円となりました。一方、デジタルサイネージ事業の売上高は、同10.0%減の190百万円と減収となりました。

損益面では、上述のソフトウェア開発事業の増収が寄与し、売上総利益は同2.7%増の885百万円となり、販売費及び一般管理費が各方面に亘る経費圧縮努力により同7.5%減の726百万円となったため、営業利益は同106.5%増の159百万円となりました。経常利益は、営業外収益として円安の影響によるデリバティブ評価益の計上があり、同171.3%増の249百万円と大きく増益となりました。

固定資産除却損等の特別損失1百万円、法人税等78百万円を控除した四半期純利益は同470.8%増の166百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から79百万円減少し、1,872百万円となりました。主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動の資金は、税金等調整前四半期純利益により248百万円確保しましたが、売上債権の増加や法人税等の支払の増加等により、前年同四半期に比べ156百万円減少し、126百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における投資活動の資金は、無形固定資産の取得による支出が増加したことにより、前年同四半期に比べ39百万円減少し、147百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における財務活動の資金は、社債の償還による支出や長期借入金の返済による支出が増加したことにより、前年同四半期に比べると417百万円減少し、68百万円の支出となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,600,000
計	19,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,410,297	13,410,297	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100 株であります。
計	13,410,297	13,410,297		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	13,410,297	-	1,494,500	-	451,280

(6) 【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
SBIホールディングス株式会社	東京都港区六本木1-6-1	2,820	21.03
株式会社ソルクシーズ	東京都港区芝5-33-7	2,689	20.06
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町1-4-2	590	4.40
長尾 章	千葉県船橋市	559	4.17
日本新思ソフト株式会社	東京都中央区日本橋茅場町2-9-8	529	3.95
ソルクシーズ従業員持株会	東京都港区芝5-33-7	263	1.97
センコンインベストメント株式会社	宮城県名取市下余田字中荷672-1	251	1.87
株式会社トラストシステム	東京都千代田区外神田3-14-10	201	1.50
北愛知三菱自動車販売株式会社	愛知県名古屋市北区若葉通1 3 8	95	0.71
内ヶ崎 俊夫	宮城県仙台市	95	0.71
計	-	8,095	60.37

(注) 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,689,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,650,700	106,507	
単元未満株式	普通株式 69,697		
発行済株式総数	13,410,297		
総株主の議決権		106,507	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ソルクシーズ	東京都港区芝5 33 7	2,689,900		2,689,900	20.06
計		2,689,900		2,689,900	20.06

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,521,790	1,443,006
受取手形及び売掛金	1,398,630	1,456,329
有価証券	530,860	530,997
商品及び製品	27,200	28,419
仕掛品	255,046	289,384
原材料及び貯蔵品	3,569	3,068
その他	137,894	158,707
貸倒引当金	5,481	537
流動資産合計	3,869,511	3,909,376
固定資産		
有形固定資産	616,750	572,321
無形固定資産		
のれん	13,666	9,478
その他	549,297	658,820
無形固定資産合計	562,963	668,299
投資その他の資産		
投資有価証券	697,303	797,297
繰延税金資産	378,999	389,937
その他	316,240	317,677
貸倒引当金	1,440	990
投資その他の資産合計	1,391,103	1,503,922
固定資産合計	2,570,816	2,744,543
繰延資産	3,829	2,543
資産合計	6,444,157	6,656,463

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,977	609,712
短期借入金	642,000	682,400
1年内償還予定の社債	260,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	399,200	536,900
未払法人税等	147,138	115,601
賞与引当金	-	25,916
その他	497,276	454,524
流動負債合計	2,425,592	2,485,054
固定負債		
社債	70,000	40,000
長期借入金	467,800	505,700
退職給付引当金	1,030,752	1,056,694
役員退職慰労引当金	131,466	124,913
その他	35,002	28,020
固定負債合計	1,735,021	1,755,328
負債合計	4,160,614	4,240,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	1,468,229	1,468,229
利益剰余金	288,299	401,262
自己株式	1,002,520	1,002,602
株主資本合計	2,248,507	2,361,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,787	14,207
為替換算調整勘定	8,735	19,164
その他の包括利益累計額合計	17,522	33,372
少数株主持分	17,512	21,319
純資産合計	2,283,542	2,416,080
負債純資産合計	6,444,157	6,656,463

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 2 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日)
売上高	4,203,630	4,620,140
売上原価	3,341,391	3,734,456
売上総利益	862,239	885,684
販売費及び一般管理費		
役員報酬	160,808	148,070
給料	261,225	225,838
賞与	14,400	27,747
賞与引当金繰入額	6,162	6,188
役員退職慰労引当金繰入額	10,732	9,559
退職給付費用	17,850	16,472
法定福利費	45,071	44,920
地代家賃	53,103	48,140
支払手数料	49,002	44,043
のれん償却額	4,187	4,187
その他	162,639	151,388
販売費及び一般管理費合計	785,184	726,557
営業利益	77,054	159,126
営業外収益		
受取利息	3,214	9,818
受取配当金	3,228	2,794
デリバティブ評価益	12,795	91,170
その他	9,673	7,984
営業外収益合計	28,911	111,767
営業外費用		
支払利息	9,702	10,029
投資事業組合運用損	1,179	1,565
為替差損	736	8,083
その他	2,349	1,628
営業外費用合計	13,968	21,307
経常利益	91,997	249,586
特別損失		
固定資産除却損	425	911
固定資産売却損	-	403
投資有価証券評価損	5,309	-
ゴルフ会員権評価損	1,674	-
特別損失合計	7,408	1,315
税金等調整前四半期純利益	84,589	248,271
法人税、住民税及び事業税	74,058	107,411
法人税等調整額	17,360	29,077
法人税等合計	56,698	78,333
少数株主損益調整前四半期純利益	27,891	169,938
少数株主利益又は少数株主損失 ()	1,289	3,372
四半期純利益	29,180	166,565

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,891	169,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,825	5,420
為替換算調整勘定	826	10,863
その他の包括利益合計	4,652	16,284
四半期包括利益	32,543	186,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,750	182,415
少数株主に係る四半期包括利益	1,206	3,807

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	84,589	248,271
減価償却費	76,392	97,111
のれん償却額	4,187	4,187
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,897	6,552
退職給付引当金の増減額(は減少)	54,852	25,941
賞与引当金の増減額(は減少)	18,883	25,916
受注損失引当金の増減額(は減少)	22,917	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,214	5,394
受取利息及び受取配当金	6,443	12,612
支払利息	9,702	10,029
デリバティブ評価損益(は益)	12,795	91,170
投資事業組合運用損益(は益)	1,179	1,565
投資有価証券評価損益(は益)	5,309	-
ゴルフ会員権評価損	1,674	-
固定資産除却損	425	911
固定資産売却損益(は益)	-	403
売上債権の増減額(は増加)	242,204	57,698
たな卸資産の増減額(は増加)	59,373	35,719
仕入債務の増減額(は減少)	35,630	107,764
未払消費税等の増減額(は減少)	5,069	22,967
その他	134,753	75,850
小計	303,362	260,072
利息及び配当金の受取額	13,661	12,696
利息の支払額	10,675	11,083
法人税等の支払額	23,860	135,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,488	126,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,403	8,890
有形固定資産の売却による収入	53	39,980
無形固定資産の取得による支出	131,438	176,390
投資有価証券の取得による支出	3,753	2,506
社債等の償還による収入	32,000	-
貸付金の回収による収入	480	480
その他	10	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	108,072	147,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	5,600	40,400
長期借入れによる収入	550,000	400,000
長期借入金の返済による支出	136,400	224,400
社債の償還による支出	30,000	230,000
自己株式の取得による支出	147	81
配当金の支払額	26,803	53,602
その他	1,351	616
財務活動によるキャッシュ・フロー	349,697	68,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	744	10,429
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	524,857	79,157
現金及び現金同等物の期首残高	1,687,046	1,951,645
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,211,903	1,872,487

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び預金	1,782,421千円	1,443,006千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	50,000	50,000
別段預金	1,226	1,517
マネー・マネジメント・ファンド等	480,708	480,997
現金及び現金同等物	2,211,903	1,872,487

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	26,803	2.5	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰 余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	53,602	5.0	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰 余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日~平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	ソフトウェア開発事業	デジタルサイネージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,991,846	211,783	4,203,630	-	4,203,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,991,846	211,783	4,203,630	-	4,203,630
セグメント利益又は損失()	113,862	36,807	77,054	-	77,054

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日~平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア開発事業	デジタルサイネージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,429,478	190,662	4,620,140	-	4,620,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	-	10	10	-
計	4,429,488	190,662	4,620,150	10	4,620,140
セグメント利益又は損失()	205,429	46,312	159,116	10	159,126

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去10千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円72銭	15円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	29,180	166,565
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	29,180	166,565
普通株式の期中平均株式数(株)	10,721,100	10,720,451
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月14日

株式会社ソルクシーズ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 毛利 篤雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 寶野 裕昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソルクシーズの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソルクシーズ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。